

## 事業概況報告

平成 28 年度は、4 月に熊本地震、7 月には 18 歳選挙権の施行と東京都知事選挙が行われ小池百合子知事の誕生がありました。8 月には、相模原市の障がい者施設の殺傷事件、リオデジャネイロオリンピックの開催、天皇陛下の退位の意向示唆など数多くの出来事も報道されました。

その様な状況の中で日本経済は、緩やかな回復が続いているとの指摘がされていますが、国民の所得増の実感にはなっていない状況です。

また国会では、国有地払下げ問題やテロ等対策防止法案等国民の関心が高まる事案の論戦が繰り広げられています。

海外では、トランプ米大統領が就任、イギリスの EU 離脱、韓国の朴大統領の罷免、北朝鮮の度重なるミサイル発射、「イスラム国」による自爆・テロ活動など政治的・経済的な混迷が強まり、深刻化した現状が続いています。

このような状況の中、東芝健康保険組合「けんぼメディカル・チェック」の巡回健診実施開始の時期が 6 月になるなど前年実績を大きく下回る状況となり、11 月よりみずほ総合研究所(株)へ「収益改善構想策定支援に関するコンサルティング」の委託を行い財務収支状況の改善に取り組みました。さらに「けんぼメディカル・チェック」の巡回健診を 3 月初旬まで実施し事業を進めた結果、事業収入は、27 億 3 百万円となりました。

集団巡回健診、施設健診の部門については、前年実績を下回りましたが、環境衛生部門では、前年を若干上回る結果となっています。事業収入全体では、前年比 99.6%、1,100 万円の減となりました。

新公益法人制度改革により、「一般財団法人」として 4 年目の事業となりました。公益目的事業の一環として「乳がん検診マンモグラフィー検査の受けられる日曜日 (J.M.S)」及び「ほ도가や区民まつり」「健康チャレンジフェアかながわ」等を取り組みました。

また、新システム (Rebon システム) の早期の本格稼働にむけた取り組みを進め、11 月よりけんぼメディカル・チェックの健診、東振協及び東電の主婦検診などを稼働させることができました。今後は、実施後の課題整理や仕様変更などを早期に改善し全事業所での稼働実施が重要になっています。

今後も、各企業内の職員、地域住民、女性等の健診及び予防医学上必要な施策を通じ、皆様の健康保持・増進・保健衛生の向上に邁進いたします。